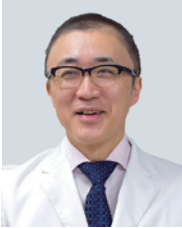




責任者からのメッセージ

小児科
教授 盛武 浩



「なぜ小児科を選んだのですか？」とよく質問を受けます。私の場合、“小児医療は「曙の医学」である”と学生実習中に先輩小児科医師がおっ

しゃった素敵なフレーズが胸に突き刺さり、小児科医になることを決めました。小児医療は、根治を目指し全力投球でき、その結果、病気を克服した子ども達が成人となり、少子化で苦しむ日本の救世主として社会へ羽ばたく姿をみられる喜びを実感でき、まさに「曙の医学」です。また、細分化された現代医療の中で「全身を診る」という学問的にも非常に満足度が高い分野です。共に宮崎の小児医療を担ってくれる、志の高い若い先生をお待ちしています。

プログラムの特徴

本プログラムは、主に宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、国立病院機構宮崎病院の6つの病院で研修することで、予防接種や健診を含む一次医療から三次医療まで幅広い知識と診療技能を偏りなく習得することが可能です。それぞれの病院で異なるタイプの医療を必要とする診療を経験し、指導・教育を受けることで、小児科専門医取得のための到達度を十分に満たすことができます。また、宮崎大学医学部附属病院には宮崎県下の症例が集約されており、各診療グループでの専門診療を行っていますが、グループ間の垣根がなく、それぞれの専門分野の知識や技術を活かし、1人の患者さんについて複数のグループで協力しながら適切な医療を提供する体制が構築されていることは、自慢できる特徴といえます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	盛武 浩 教授、他14名	小児医としてヒトの成長と発達をままもり援助するという心構えを確立する。小児科学のすべての領域をくまなく経験し、小児科医として必須の知識と診療技能を習得する。
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構 都城医療センター、国立病院機構 宮崎病院		
関連施設	県立延岡病院、国立病院機構 宮崎東病院、都農町国民健康保険病院、宮崎市総合発達支援センター、愛生会日南病院、小林市立病院、高千穂町国民健康保険病院、京都府立医科大学病院、京都市立病院		

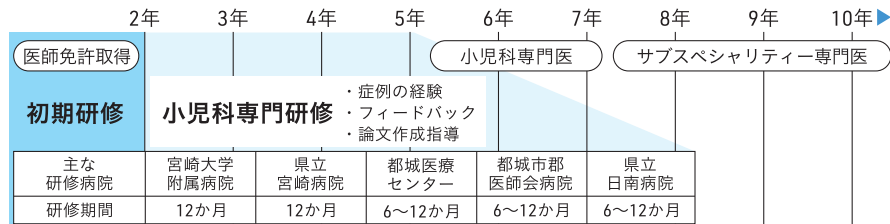
取得可能な専門医資格および技能

小児科医として必要な小児の診察、採血や腰椎穿刺、骨髄穿刺などの一般的な手技を取得することができます。また、地域の一般病院の研修では、予防接種や検診について、各種専門領域の研修では、心臓超音波

検査、心臓カテーテル検査、腎泌尿器超音波検査、腎生検、脳波検査、内分泌負荷試験、骨髄検査の評価、食物負荷試験などを学ぶことができます。3年間の研修の後、小児科専門医を取得可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医登録後、それぞれの研修病院を半年から1年間研修することで、小児の主要な症候や新生児から各種専門領域の疾患を経験し、3年経過したのちに小児科専門医試験を受験することができます。受験に際しては論文投稿が必要であり、研修中に県警した症例などをとに指導医の指導のもと論文を作成します。



プログラム達成目標

専攻医は3年間の研修によって、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることを目指します。宮崎大学医学部附属病院で研修を開始し、小児科の基本的な考え方や手技、感染免疫・アレルギー・膠原病・内分泌代謝・血液腫瘍・腎泌尿器・循環器・

神経筋・新生児医療などの各専門領域の研修を行い、2年目以降は各関連病院で小児の急性疾患、慢性疾患、地域医療を6か月間から1年間それぞれ担当医として研修します。3年間を通じ外来での乳児健康診査、予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患などすべての領域を研修します。

主要症例名と実績数

肺炎や気管支炎、急性腸炎などの小児の一般的な疾病に加え、経験できる各種専門領域の主要な症例と年間の実績数は右の通りです。

血液・腫瘍領域
神経・筋領域
循環器領域
腎・泌尿器領域

免疫・膠原病・アレルギー領域
内分泌・代謝領域
新生児領域 (NICU)

白血病(6人)、悪性リンパ腫(2人)、固形腫瘍(5人)など
てんかん(30人)、脳炎・脳症(10人)、発達障害(60人)など
先天性心疾患(80人)、心筋疾患(10人)、不整脈(5人)、難治性川崎病(5人)など
ネフローゼ症候群(10人)、慢性糸球体腎炎(20人)、慢性腎不全(2人)、急性腎機能障害(5人)、先天性腎尿路異常(20人)など
免疫不全症(2人)、膠原病(5人)、アレルギー(10人)など
低身長(30人)、糖尿病(5人)、甲状腺疾患(10人)など
超低出生体重児(30人)、人工呼吸器管理(60人)、新生児手術(40人)など

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金	土・日
～ 8:30	受持患者情報の把握					週末日直 (2/月)
8:30～ 9:00	抄読会・研究会報告	入退院カンファレンス	ミニレクチャー リサーチミーティング	症例検討会	入退院カンファレンス	
9:00～ 9:30	グループカンファレンス グループ回診					
9:30～12:00	病 棟	病 棟	病 棟・外 来	病 棟・外 来	病 棟	合同勉強会 (年3回)
12:00～13:00					薬理セミナー（不定期）	
13:00～17:30	病棟 学生・初期研修医の指導 血液腫瘍カンファ 腎泌尿器カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 全体カンファおよび 総回診	病棟 学生・初期研修医の指導 代謝・内分泌カンファ 神経カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 ハンズオンセミナー 学生症例発表（隔週）	病棟 学生・初期研修医の指導	
17:00～17:30	患者申し送り					ふりかえり（1/月）
17:00～17:30						

※ 小児泌尿器合同カンファ(1/月)、循環器外科合同カンファ(1～2/月)を月曜日に開催

指導医からのメッセージ



准教授 此元 隆雄

宮崎大学小児科は、県北部の県立延岡病院、西部の都城医療センター、都城医師会病院、南部の県立日南病院、中央の県立宮崎病院へ医師の派遣を行い連携をとりながら宮崎県全域の小児医療の充実と発展のために日々頑張っています。専攻医は大学病院と地域の中核病院などで研修をすること小児科専門医の取得が可能です。専攻医の指導体制は、中堅医師が直接指導を行い、さらに各専門分野に関してはそれぞれのサブスペシャティーの専門医・指導医とともに診断・治療行うことで最新の知見を学ぶことができます。女性医師も多数在籍しており、女性医師の様々なライフプランを医局全体で応援しています。小児医療に対する情熱をお持ちの方は、出身地、出身大学、男女問わず、いつでもご連絡ください。

先輩からのメッセージ



専攻医 芝原 貴哉

私は宮崎大学医学部に入学して実習をさせて頂く中で、小児科の先生方がとても指導熱心で、学問としても興味をもつようになり、何より子どもたちの為に尽くせるなら生涯に渡って頑張れると思います、小児科医になることを決めました。小児科は疾患分野も多岐に渡り難しいことも多いですが、どの先生方も日々の診療で困ったときには何でも相談に乗ってくださいます。また時にはつらく悲しい場面に直面することもあります、そんな中で病氣と向き合っている子どもたちの笑顔にふれると、自分たちももっと頑張ろうと元気をもらえます。そんなやりがいのある小児科で子どもたちのために一緒に頑張ってみませんか。ぜひお待ちしております。



助教 高橋 雅子

こどもは好きですか？臨床医はどの分野でも修練期間があります。時に辛いこと、苦しいこともあるかもしれませんが。小児科医の醍醐味はどんな時もこども達から元気をもらえることです。指導医もまた、こども達からいつも元氣と若さをもらっています。こどもにパワーをもらった大人はなんと、自然に優しく笑顔になれます。つまり職場の雰囲気良すぎます。気軽に相談できます。みんなが自然に多様な働き方を心から受け入れています。私はその雰囲気に導かれてこの世界の窓をたたき早15年。年々さらに良くなる医局の雰囲気を体感しています。さあ、あなたも私たちと一緒に明るく優しい小児科医になって、こども達の未来を支えていきませんか？



専攻医 矢野 壮真

私が宮崎大学小児科を選んだ理由は、温かな医局の雰囲気と、治療に励みながらも笑顔に向けてくれる子どもたちに惹かれたからです。小児科には多彩な疾患があり、初めて触れる領域も多いと思いますが、指導医の先生方が都度丁寧にサポートしてくださるため、不安やストレスを抱えることなく診療に集中できます。また若手同士で意見を交わし合える風通しのよい環境も魅力のひとつです。困難な場面に直面することもあります、病と闘う子どもたちのひたむきな姿に、むしろ力を貰います。幅広い症例を学べる充実したサポート体制のもと、子ども達と触れ合いながら一緒に成長していきましょう。

お問い合わせ先

担当：此元 隆雄

T E L：0985-85-0989

F A X：0985-85-2403

e-mail：konomoto@med.miyazaki-u.ac.jp

小児科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pediatrics/



皮膚科専門研修プログラム

皮膚を通して
全身を診ることのできる医師を育てる

募集定員
8名

研修期間
5年



責任者からのメッセージ

病院教授 持田 耕介



皮膚科は新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、アトピー性皮膚炎や薬疹など薬物療法が主体の疾患から、熱傷や皮膚癌などの外科的治療が必要なものまで守備範囲とすることが大きな魅力です。数多くの症例を経験することで、患者さんの病巣を的確に表現できるようになり、そしてこのことは臨床診断や病態の把握に役立ちます。また皮膚科ではマクロ(臨床)とミクロ(皮膚病理)を対比できるのが強みです。病理が苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、皮膚病理は確定診断になる事はもちろん、臨床像や病態と密接に関係しています。私たちとマクロとミクロを診る目を養って頂きたいと思います。私たちとここ宮崎で皮膚科学を極めたい仲間を歓迎いたします。

プログラムの特徴

外来患者数は1日平均50人以上、疾患も先天性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患、皮膚悪性腫瘍など多岐にわたります。入院患者は重症薬疹、熱傷、皮膚癌など重症患者も多く、豊富な経験を積むことができます。また年間手術件数も多く全身麻酔の症例だけで約300件の多くの手術を経験することができます。内科系から外科系まで幅広く知識・技術を習得することができ、また研究面においては、南九州に多いとされる成人T細胞性白血病/リンパ腫の進行に関連する遺伝子変異の検索を行っています。地域医療に貢献できる研究や診察を目指しています。

連携施設名等

	施設名	指導医	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	持田 耕介 病院教授、他7名	56.3名	13.2名	243(入院)例
連携施設	県立宮崎病院、県立延岡病院、千代田病院、古賀総合病院、順天堂大学医学部附属 順天堂医院、九州大学病院				
準連携施設	県立日南病院、藤元総合病院、国立健康保険西米良診療所、高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院				

※プログラムに書かれている施設への研修は、必ずしも全ての施設で研修できるということではありません。

取得可能な専門医資格および技能

- 機構認定皮膚科専門医
- 日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医
- 日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

基幹：研修基幹施設での研修

連携：研修連携施設での研修 ⇒ 県立宮崎病院(宮崎市)、古賀総合病院(宮崎市)、千代田病院(日向市)、県立延岡病院(延岡市)

大学院(研究)：基礎医学の講座などで研究に専念する期間(2年間まで)

大学院(臨床)：皮膚科を研修しながら研究をする期間

コース	研修1年目	研修2年目	研修3年目	研修4年目	研修5年目	
A 基本コース	基幹	基幹	連携	連携	基幹	受験申請 ↓ 専門医試験 ↓ 専門医 ↓ サブスペシャリティ修得
B 連携施設中心コース	基幹	連携	連携	連携	基幹	
C 社会人大学院コース	基幹	基幹 (社会人大学院)	連携 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	
D 大学院在学中に受験するコース	基幹	連携	基幹	大学院 (研究)	大学院 (研究)	

※ 産休・育休の期間は6か月を上限に研修期間として認められます。

※ 1人医長の期間は最大2年まで研修期間として認められます。

※ 大学院生として皮膚科以外の臨床講座あるいは基礎系講座あるいは研究所等にて皮膚科領域に関連する研究に従事する場合は、2年間に限りに研修期間と認められます。

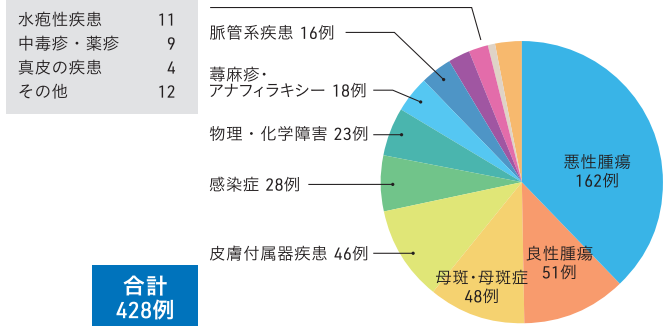
プログラム達成目標

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術を獲得できることを目標とし、医師としての全般的な基本能力を基盤に、皮膚疾患の高度な専門的知識・治療技能を修得し、関連領域に関する広い視野をもって診療を行うことが出来るようになることを目標とします。

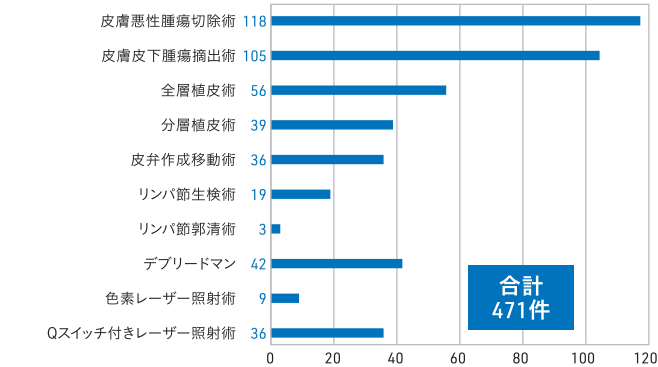
主要症例名と実績数(令和6年度)

昨年度の実績数は以下のとおりです。

疾患別延べ患者数



手術件数(令和6年)



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月曜は終日カンファレンスを行います。専攻医は自身の受け持ち入院患者について1週間のウィークリーサマリーのプレゼンテーションを行ってもらいます。また皮膚病理検討会や、外来スライドカンファレンスも行っております。外来患者のカンファレンスにも参加することで、稀な疾患からコモンな疾患まで幅広く知識を深めることが出来るようなカンファレンスを行うことを目標としています。抄読会も行い、英語論文に慣れ親しんでもらうことを目的としています。水曜金曜の

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟回診	手術及び病棟	外来	手術及び病棟	外来
PM	カンファレンス・病理・抄読会等	手術及び病棟	外来	手術及び病棟	病棟、回診

指導医からのメッセージ



講師 西川 陽太郎

皮膚科の特徴の一つは症状が目に見える事にあります。肉眼で確認できる症状から病態を考える奥の深い学問であり、臨床では治療の効果が医療者、患者ともに実感しやすい点も特徴的です。皮膚科は疾患領域、スペシャリティが多岐にわたる点も特徴的で、当プログラムでは豊富な手術症例に携われるだけではなく、炎症性疾患やアレルギー性疾患も幅広く経験することができます。私自身は皮膚病理に興味を持って研修を開始しましたが、研修中にアトピー性皮膚炎の研究を行い、現在はアレルギー性疾患を中心に日々の診療に臨んでいます。手術を含め、幅広く皮膚科を学びたい方、宮崎の医療への熱い思いのある方、皆様の研修参加をお待ちしております。

先輩からのメッセージ



助教 檜原 亮

皮膚科入局6年目、今年は病棟医長を務めています。判断を任される場面も増え、外科的処置・手術から内科的疾患まで幅広く対応する中で、日々その奥深さと面白さを実感しています。皮膚科の大きな特徴として、扱う疾患の数とバリエーションの豊富さがあると思います。教科書に載っているだけでも膨大で、今でも初めて出会う疾患があります。過去に学んだ知識と臨床が結びついた瞬間の達成感は、何度味わっても格別です。皮膚科に少しでも関心があれば、ぜひ一度研修にいらしてください。

お問い合わせ先

担当：西川 陽太郎

T E L : 0985-85-2967

F A X : 0985-85-6597

e-mail : derma@med.miyazaki-u.ac.jp

皮膚科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/derma/>



多様性に富んだ心と人生を支える精神科医を目指してみませんか？

精神科専門研修プログラム

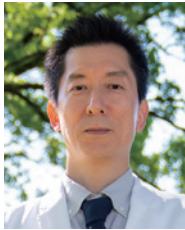
募集定員
10名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

精神科
教授 平野 羊嗣



目まぐるしく変化する現代社会のニーズに応えるべく、精神科医の活躍の場は益々増えています。患者さんの悩みや人生に寄り添い、多様性に富んだ人間の心(脳)を診ることができる、一流の精神科医を育てることが我々の最大のミッションです。そのために、当科は個々人の多様性と自由闊達な雰囲気大切にしています。当科のプログラムは、指導体制が充実した多数の高度な専門医療機関と連携しながら、常にバランスのいい研修ができるように心がけています。また、精神科医として欠かせない科学的な視点を養うためにも、専門医を目指しながら研究に従事できる環境も整えています。我々と一緒に、多様性に富んだ心と人生そのものを支える精神科医を目指してみませんか？

プログラムの特徴

県内の多くの精神科医療機関と連携したプログラムです。基幹施設の宮崎大学医学部附属病院精神科では、救急部と連携した精神科救急、身体合併症、難治性精神疾患、器質症状性精神障害、緩和ケア、リエゾンなど学びます。県立宮崎病院、児童思春期の専門医療機関、認知症疾患医療センター、単科精神科病院などをローテートして研鑽を積み、精神保健指定医と専門医を並行して取得することが可能です。また、大学院進学プログラムもあります。平野羊嗣教授による新体制で、これまで積み重ねてきた知見に新たな風が加わり、より充実したプログラムをお約束します。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	平野 羊嗣 教授、他6名	統合失調症、気分障害、神経症性障害、認知症。精神科救急、思春期症例などの治療、さらに身体合併症治療、コンサルテーション・リエゾンなど精神科臨床を幅広く経験できる。
連携施設	県立宮崎病院精神医療センター、国立病院機構 宮崎東病院、井上病院、協和病院、高宮病院、大悟病院、野崎病院、宮崎若久病院、内村病院、県南病院、鯉島病院、都城新生病院、田中病院、谷口病院、永田病院、吉田病院、延岡保養園、若草病院、九州大学病院		

取得可能な専門医資格および技能

日本精神神経学会専門医・精神保健指定医を取得後は、精神科医としての経験を積みながら、サブスペシャリティを深めることを推奨します。大学病院精神科では、以下の専門医などが取得できます。

- 日本老年精神医学会認定専門医
- 精神科救急認定医
- 日本緩和医療学会専門医
- 一般病院連携精神医学専門医
- 子どものこころ専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

1年目は大学病院において、精神科の基礎知識習得のため新たに導入した精神科クルズスを皮切りに、主要な精神疾患の診断や治療、さらには身体的・器質的疾患の除外など、精神科医として必要な幅広いスキルと論理的考察を身につけます。2年目以降は各自の希望に沿ってプランを組んでいきます。精神保健指定医や専門医として必要な症例も3年間で十分経験することができます。学会発表や論文、症例報告の指導を通じ、科学的な視点で精神疾患を診る姿勢を学んで頂きます。また、リサーチマインドの涵養のため、専門医取得と併行して博士課程で学位を取得することも可能です。



ダブル取得！
●精神科専門医
●精神保健指定医



プログラム達成目標

1年目は指導医と一緒に、主要な精神疾患を受け持ち、面接技法、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。身体疾患に伴う様々な精神的問題に対処すべく、リエゾン精神医学も経験する。症例カンファやセミナーに参加し、学会や研究会で発表する。2年目は指導医の指導のもと、面接技法、診断、治療計画の能力を高める。薬物療法の知識を深め、認知療法など精神療法の基本的な考え方を学ぶ。また、症例報告などの執筆や学会発表の指導を受ける。3年目は指導医から自立して診療できるようにする。各種精神療法を上級者の指導の下に実践し、心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学ぶ。

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 メタ認知トレーニング
PM	入退院カンファ & 病棟回診 病棟業務 脳波カンファ	病棟業務 リエゾンカンファ & 回診 精神科救急カンファ & 回診	病棟業務 集団精神療法	病棟業務 & SST 緩和ケアカンファ & 回診	Clinical & Research セミナー 病棟業務 病棟カンファレンス

指導医からのメッセージ



講師 船橋 英樹 (医局長)

精神科には、精神保健指定医と精神科専門医の二つのライセンスがあります。3年の時間をください。大学病院を基幹として、県内外の連携施設とともに、指定医・専門医にふさわしい症例を経験してもらい、疾患の考え方から治療法、精神保健にまつわる法律、レポートの書き方まで、責任をもって指導します。申請者はすべて遅滞なく合格しています。まずはスタンダードができる精神科医をしっかりと育成しますし、そこからサブスペシャリティの相談にも乗ります。従来の老年精神専門医、緩和医療専門医に加え、子どものこころ専門医、精神科救急専門医、リエゾン専門医の体制を整備しました。大学院で博士を取得したい人もぜひ。お待ちしております。普段より真面目に答えています。

先輩からのメッセージ



専攻医 矢野間 悠晟

『治療者は患者と山頂で出会い、どこに次の一歩を踏み出せばよいかをともに探りながら、安全に麓まで寄り添う』。中井久夫という偉い先生がそう言っていました。上り坂はきつい、ゆっくりゆっくり。いい景色が見えてきた、足元には気をつけて、ゆっくりゆっくり。雨が降ってきた、焦らずじっと弁当を食べて…。この気の長さが魅力と思い精神科医局の門を叩きました。仕事も家庭もひとりの時間も満たして、ゆとりを持って目の前の患者さんと向き合う。意外とむづかしいですが、当科にはその道のプロが勢揃い。医局はオープンです。いつでも遊びにいらしてください。

主要症例名と実績数

症例	外来	入院
F0 器質症状性精神障害	約1,500例	約1,200例
F1 精神作用物質障害	約300例	約200例
F2 統合失調症圏	約1,200例	約1,200例
F3 気分障害	約1,800例	約1,000例
F4 神経症性障害	約2,000例	約400例

お問い合わせ先

担当：船橋 英樹

T E L : 0985-85-2969
F A X : 0985-85-5475
e-mail : psychweb@med.miyazaki-u.ac.jp

精神科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/psychiatry/>



外科専門研修プログラム

いざ宮崎の革新的な外科大講座へ！
日々是好日へ

募集定員
10名

研修期間
3年

責任者からのメッセージ

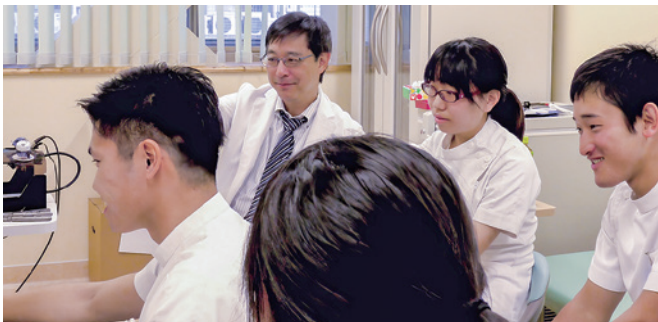


肝胆膵外科学分野
教授 七島 篤志

宮崎大学医学部外科が誇る革新的な大講座制度プログラムに、あなたの若々しい独創性を織り交ぜましょう！ 私たちの外科プログラムは、外科5領域＋形成外科をカバーしつつ、消化器外科を目指す方々には、サブスペシャリティのプログラムが用意されています。我々が所属します日本外科学会の専門医制度では、最終的なサブスペすべの領域を統括し、今後はさらに専門領域へと一元管理が拡大される予定です。

外科医の課題には、第一に地方での専門医不足がありますが、逆に考えれば、都会の大規模病院に比べて個々のチャンスは多いと捉えることができます。第二として、女性外科医の促進と環境整備です。他の領域と同様に、積極的な管理運営が期待されています。第三の課題は働き方改革で、2024年春からは時間外労働の制限や勤務状況による労働の在り方が一般の労働基準に近づきました。過去の過重労働や無益な労働を解消し、外科医の働き方やワークライフバランスに配慮することが求められます。若くて才能あふれる皆さん、技術と知恵、未知の能力を兼ね備えたあなたが、地域から世界を支え、発展させていく一員となりませんか。うまくこなせば**日々是好日(ひびこれこうじつ)**な生活も送れる時代になってきました。外科における急速なデジタル技術、高速回線、AIなどの進歩を活用して、これまでの煩わしい雑務や手順を効率化し、本来求められてきた**外科医の生命を救う真の能力を発揮できる**ようになってきております。グリーン(またはブルー)ジャケットを身につけながら、外科医のみが許される生体に傷を加えることのできる技術からのみ得られる、将来の**謙虚で優れた全人の人格**を形成していくことが大切です。

さあ、技術と知恵と、まだ見ぬ外科医としての未知の能力を兼ね備えた若人のみなさん、我々と一緒に世界を地域から支え、発展させていきましょう！



プログラムの特徴

宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、宮崎県で有数の研修病院・拠点病院・救急病院として知られる複数の病院が連携施設になっています。病院の規模や地域性が異なり、幅広い経験が可能です。宮崎大学外科専門研修プログラムの関連施設全体での手術総数は約20,000件です。大学病院の手術は軒並み増加しバラエティ豊かに発展しています。分野間の連携が良く、将来何事にも対応できる専門医をめざせます。

連携施設名等

	施設名	統括責任者	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	七島 篤志 教授	消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、県立延岡病院、宮崎市医師会病院、都城市医師会病院、宮崎県済生会日向病院、串間市民病院、潤和会記念病院、千代田病院、新行橋病院、古賀総合病院、南部病院、宮崎生協病院、黒木病院、さがら病院宮崎、国立病院機構 宮崎東病院、宮崎善仁会病院、国立病院機構 都城医療センター、小林市立病院		

取得可能な専門医資格および技能

1階建て部分の外科専門医を3年で取得し、引き続いて2階、3階建て部分の各サブスペシャリティ専門医に速やかに移行していきます。外科医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と

外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術を習得します。

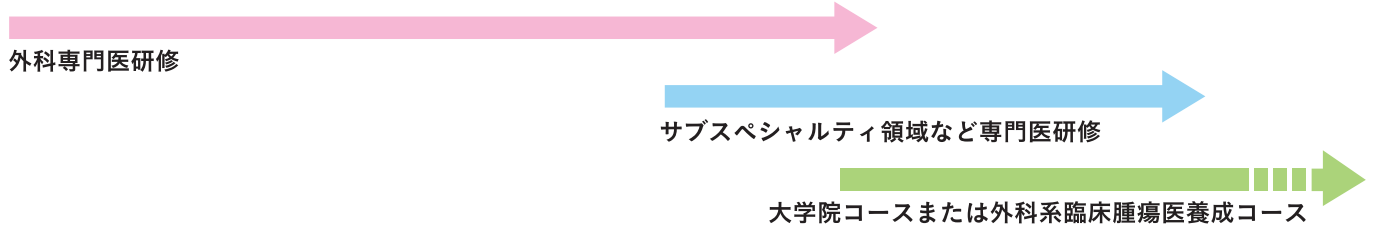


専門医取得までのタイムスケジュール

外科専門医は初期臨床研修修了後、3年(以上)の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。下図に宮崎大学外科研修プログラムの1例

を示します。専門研修1年目は基幹施設、2年目は連携施設、3年目は基幹施設や連携施設での研修です。3年目以降の研修は2年次終了時の達成度合いで、研修内容を検討いたします。

1年次	2年次	3年次	4年次
基幹施設	連携施設	基幹施設	基幹施設や連携施設



サブスペシャリティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した年の年度初めに遡ってサブスペシャリティ領域専門研修の開始と認める場合があります。

専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われます。

習得目標及び経験症例数

専門研修1年目

主に大学病院で基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺

経験症例 200例以上
(術者30例以上)

専門研修2年目

基本的診療能力の向上に加えて、主に関連病院で外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺

経験症例 350例以上/2年
(術者120例以上/2年)

専門研修3年目

チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。

3年目は原則として宮崎大学病院で研修を行い、不足症例に関して各領域をローテートします。

責任者からのメッセージ

『「癌の手術が受けられなくなる」、「救急車を呼んでも診てくれる医師がいない」、そんな未来が現実になりつつあることをご存じでしょうか？』…これは、日本消化器外科学会が主催で行った市民公開講座ポスターの見出しです。我々の使命は、消化器外科医療における深刻な現状の打破です。確かな技術、深い知識、豊富な経験を身に着けた外科医が、お互いの立場や考えを尊重し、理解して、県内の施設間の垣根を超えて、この荒波を乗り越える大きな船を作る必要があります。今は決して大船ではありませんが、宮崎県の確かな消化器外科医療を、一緒に築き上げていきましょう。

領域の紹介

- 消化管(食道・胃・小腸・大腸)の疾患を取り扱う消化管外科と腹部実質臓器(肝・胆道・膵・脾)の疾患を取り扱う肝胆膵外科の2分野の紹介です。
- 外科学分野を横断的に学んで外科専門医を資格を得たのち、消化器外科専門医の資格取得を目標にこの2分野で研鑽をつんでいきます。
- 症例毎に手術適応、手術な用、術後合併症の対応、全身管理について、カンファレンスを重ね、安全性の高い外科診療をめざしています。

教育達成目標

将来の専門分野にかかわらず、卒後5年目の外科専門医取得を目指します。外科専門医に必要な症例数は、専門領域の研修を大学病院で、一般外科の執刀医経験を関連施設で経験することで、十分な修練が可能となります。消化器外科では、外科専門医習得の後に大学病院および関連施設で、消化器外科専門医に必要な症例数と執刀数を経験し、研究・研修実績を積みみます。消化器外科専門医習得後は、大学院進学や留学を含めて、それぞれの先生のキャリアプランに合わせて教育達成目標を設定します。もちろん、出産や子育て等で休まなければいけなくなった場合でも、きちんとキャリア形成ができるように手厚くサポートします。

取得できる専門医及び技能

消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、消化器病学会専門医、肝胆膵外科高度技能専門医、胆道学会指導医、膵臓学会指導医、大腸肛門病学会専門医、食道学会食道外科専門医、気管食道科学会専門医、日本外科感染症学会外科周術期感染管理医認定医、日本腹部救急医学会認定医、日本Acute Care Surgery学会認定医など資格取得に必要な手術や処置の技術

主要症例名と実績数

2024年の手術実績数		
症例	実績数	
【肝胆膵外科 99例】	高難度手術	48
	膵頭十二指腸切除術	15
	肝切除術	41
【上部消化管手術 163例】	食道癌手術	38
	胃癌手術	44
【下部消化管手術 194例】	小腸腫瘍・大腸癌	108
	炎症性腸疾患	10
【外傷外科手術 19例】		



- 各領域で鏡視下手術を積極的に導入しています。
- 2022年よりロボット手術も導入し症例を増やしています。
- 緊急手術や外傷手術も対応しており、救命外科を経験できます。
- 若手の先生がバランスよく効率的に消化器外科に精通できるような丁寧な指導をこころがけています。

先輩からのメッセージ



千代反田 顕

みなさんこんにちは。私は、久留米大学を卒業後、宮崎大学での研修を経て外科に入局し7年目になります。外科専門医を取得し、消化器外科専門医を目指して日々奮闘してます。当科は大講座制を掲げておりますが、実際に私がいる医局の部屋には心臓血管外科や呼吸器外科の先生も机を並べており、世間話をするなど各分野の距離感がとても近くfriendlyな環境です^^。消化器外科分野でもロボット手術が導入されるなど、術者も日々技術を磨く必要性がありますが、勉強会が定期的に開かれるなど若手の指導にも力を入れてくださっており、先輩方の背中を追いかけながら満足のいく環境で仕事をする事ができています。私は手術室で无影灯の下、手術をされている先生方に憧れて外科医となりました^^。悩んでいる方がいれば相談に乗りますので、是非気軽に連絡して下さい。お待ちしております^^。

主要症例名と実績数

宮崎大学医学部附属病院において、外科の年間の退院患者数は約1,200人、外来患者延べ人数は、約12,000人です。手術件数も年間約1,200件ありますので、各分野の症例数は十分に満たします。

院患者数	外来患者延べ人数	手術件数も年間
約1,200人	約12,000人	約1,200件

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス	カンファレンス	抄読会、勉強会	カンファレンス	カンファレンス
午前	病棟業務・外来				
午後	外来・総回診	外 来			
9:00 ~	手 術				
夕方	放射線診断合同 カンファレンス	医局全体ミーティング	内科外科合同カンファレンス 医局全体ミーティング	病理合同カン ファレンス	病理合同カン ファレンス

指導医・先輩からのメッセージ



消化管・内分泌・小児外科
市原 明子

初期研修が無事終了し、これからいよいよよの専門に進むか思いを巡らせておられることと思います。一度きりの人生を大きく左右する選択といっても過言ではありませんが、これまでの学生生活や研修医期間の決められたカリキュラムと違って、これからは自分がどんな医師人生を歩んでいきたいか、それぞれの意思で自分の道を築いていくことになります。当外科学教室は大講座制で、各専門分野の先輩たちと一緒に働きながら、自分の関心のある領域をじっくり選ぶことが可能です。また、大学病院と地域の連携病院をローテートする研修プログラムを通して、幅広くバランスの取れた臨床経験を積んでいくことができます。困難を乗り越えながら、一生探求し続けることのできる魅力的な分野と思います。興味のある方、大歓迎です！



心臓血管外科
阪口 修平

宮崎大学外科では各分野がお互い協力しながら日々診療にあたっており、幅広い分野をシームレスに研修できることが大きな特徴です。毎週の外科合同カンファレンスで症例検討や情報交換を行っており、合同で手術を行うことも稀ではありません。また地方大学ゆえ、common diseaseから希少疾患、高難度症例まで幅広く経験することができます。宮崎の温厚な県民性は外科医も例外ではなく、後輩を優しく指導してくれる先輩がたくさんいます。働き方改革も重視しており、一人一人のワーク・ライフ・バランスを尊重しています。命の瀬戸際にある患者さんを自分の磨いた腕で救うことができる、外科医は非常にやり甲斐のある仕事です。少しでも外科に興味のある方、ぜひ当科で研修してください。

ココに注目！

現代の患者のニーズでは女性外科医の必要性は年々高まっていて、宮崎大学プログラムはいち早く女性医師が働きやすい環境整備をすすめ、性別にかかわらず就業・キャリア形成ができるよう最善を尽くしています。女性が働きやすい職場こそ男性も働きやすい職場である認識から、共に21世紀の働き方を改革しましょう。



MIYAZAKI STRONG

宮崎大学外科学講座のロゴマーク

お問い合わせ先

担 当：前田 亮

T E L：0985-85-2291

F A X：0985-85-5563

e-mail：ryo_maeda@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/

外科 HP



責任者からのメッセージ



心臓血管外科
科長 古川 貢之

心臓血管外科領域は、成人の弁膜症疾患、冠動脈疾患と大血管疾患、小児先天性心疾患等の治療にあたります。循環器疾患は高齢化とともに今後益々増加がすることが見込まれ、生命を左右する重大な領域でもあり、心臓血管外科医はその外科領域の担い手となります。スピードと精密さが求められますが、基本的な知識と技術の習得とその洗練化、患者さんを思いやる真摯な気持ちと自己達成感から成立しており、特殊な素質は必要としません。そんなことを自分の手で実現、達成したい熱い心を持った専門研修生を待っています。

領域の紹介

当科では成人心臓疾患(心臓弁膜症、虚血性心臓病など)、先天性心疾患(心室中隔欠損症など)、大動脈疾患(大動脈瘤、大動脈解離など)、末梢動脈疾患、静脈疾患など幅広い疾患を対象に診療を行っています。カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)やステントグラフト内挿術などの低侵襲治療にも積極的に取り組んでいますが、宮崎県の最後の砦として難易度の高い手術や小児・成人先天性心疾患への対応も求められ、最善の治療が提供

教育達成目標

担当グループの一員として、患者さんの入退院管理、術前プランニング、手術に参加します。概ねパス通りに経過しますので、そこで基礎的な診療力を獲得します。緊急手術などイレギュラーな場面の対処法と診察力を養い、患者さんとご家族へのケアも学びます。また外科の考え方を身につけ、清潔操作、切開、

週間行事・研修に関する行事

月・水曜日は外来。火・木・金曜日は手術。毎週水曜日にハートチームカンファレンス、毎月末の月曜日に成人先天性心疾患カンファレンスを行っています。

主要症例名と実績数

2021～24年の手術数は223/253/298/302件と年々増加しています。

症 例	実績数
成人心臓大血管手術	258件
心臓・大血管手術：136件	
カテーテル治療：122件	
経カテーテル的大動脈弁留置術：47件	
胸部大動脈ステントグラフト内挿術：35件	
腹部大動脈ステントグラフト内挿術：40件	
小児心臓大血管手術	22件
心臓手術：17件	
動脈管開存症など：5件	
腹部大動脈・末梢血管手術など	44件



できるようチーム一丸となって日々の診療に当たっています。県内の関連病院(県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院)と共に修練施設群を形成し、計10名の心臓血管外科専門医を配置し、豊富な手術症例数を確保しています。さらなるスキルアップのため国内外のHigh Volume Centerへの留学も行っています。

縫合、ドレーン管理等の基本的な外科操作を習得します。さらに心臓血管外科領域の考え方、循環の基本的な知識の獲得、手術法、術後管理と患者さんのフォローの基礎を習得します。専門研修期間中に学会での発表とケースレポートの作成を経験してもらいます。

取得できる専門医及び技能

- 外科専門医
- 外科指導医
- 心臓血管外科専門医
- 心臓血管外科修練指導医
- 循環器専門医
- 脈管専門医
- ステントグラフト実施医および指導医
- TAVI実施医および指導医

ココに注目！

心臓血管外科では迅速かつ確な判断力、手術の技術と絶対に諦めないという気持ちを持って生命の危機に陥っている患者さんをリカバリーし、医師として掛け替えない充実感を感じることができます。タフな仕事ではありますが、カテーテル治療など手術の低侵襲化も進み、医療者自身の負担も軽くなってきています。人の心に寄り添える心優しいスタッフとともに、人生の階段を上ってみませんか！

責任者からのメッセージ



呼吸器外科
科長 前田 亮

宮崎大学呼吸器外科では、完全鏡視下手術、ロボット支援下手術を早くから取り入れ、全国トップレベルの医療を提供し続けるべく、日々奮闘しております。外科医としての貴重な経験を積むことが可能である一方、緊急手術に忙殺されることは稀ですので、日々進歩する医学の新しい知見を勉強する時間的余裕もあり、患者さん一人ひとりの治療にしっかり向き合うこともできます。肺や縦隔疾患に少しでも興味をお持ちの方は、是非お待ちしております。

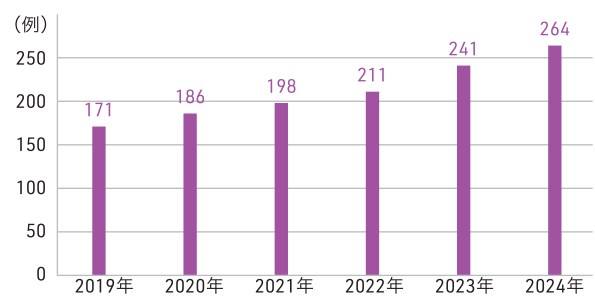
領域の紹介

当呼吸器外科では、原発性肺がん、他臓器からの転移性肺腫瘍などの胸部腫瘍性疾患、縦隔の各種疾患、気胸や悪性胸膜中皮腫などの胸膜疾患、胸部の感染性・炎症性疾患(肺結核、非定型抗酸菌症、膿胸など)、胸壁疾患(胸壁腫瘍や漏斗胸)などの外科治療を行っています。近年の手術では、内視鏡を使用し

教育達成目標

- 患者やその家族と十分にコミュニケーションを図り、信頼関係を築く。
- 各疾患(肺癌、自然気胸、慢性肺気腫、炎症性肺疾患、縦隔腫瘍)の病態を理解し、指導医とともに治療計画(手術適応の検討)を立てる。
- 胸腔ドレナージの目的と意義を理解し、その手技を経験する。
- 開胸・閉胸手技を経験する。
- 頻度の高い周術期合併症について認識し、その対策について学習する。
- 肺理学療法の目的と原理について学習する。

主要症例名と実績数



2024年全身麻酔手術件数と内訳

症 例	実績数
肺悪性腫瘍	164
縦隔腫瘍	21
良性腫瘍、炎症性肺疾患	16
気胸	8
膿胸	17
外傷	11
その他	27
合計	264



て侵襲の少ない小さな手術創で行う胸腔鏡下の手術(VATS)を各種呼吸器疾患に広く応用しています。また令和2年1月より、原発性肺癌に対するロボット支援手術を開始し、質を落とすことなくさらなる低侵襲治療を行っています。

週間行事

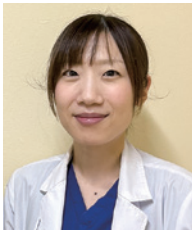
月曜日・金曜日は外来日、火曜日・木曜日は終日手術です。検査、カンファレンスは水曜日に行い、また内科、放射線科、病理との合同カンファレンスも行っております。

取得できる専門医及び技能

- 外科専門医(卒後6年)
- 卒後8年で呼吸器外科専門医

呼吸器外科では若い外科医に積極的に肺癌を始めとした手術の執刀をしていただいています。

先輩からのメッセージ



猪俣 麻佑

私自身、学生や研修医時代は見るもの全てが新鮮で、なかなか志望科を決めきれずにいましたが、その中でも手術の面白さに触れ、さらに患者様の体内から自分たちの手で病気を取り除くことができることに醍醐味を感じて呼吸器外科医になることを決めました。温かく、熱心な先生方からご指導いただきながら、呼吸器外科医として必要な症例経験はもちろん、各科の周術期管理やそれに付随する手技を取得することができ、充実した毎日を送ることができています。呼吸器外科は強い結束力も魅力の一つですので、ぜひ一度見学に来て、その雰囲気を感じていただければと思います。



責任者からのメッセージ

小児外科専門医とは子どもを安心して預けることができる外科医です。単に手術や解剖学的な知識の蓄積だけでなく、小児の成長を考え合わせた特性や小児の外科疾患の特徴についての十分な知識と経験が必要になります。小児外科専門医となるには日本外科学会・日本専門医機構において外科専門医を取得した後にサブスペシャリティである小児外科専門医を取得することになります。

宮崎大学外科学講座では卒後研修期間中は外科専門医所得のため一般的外科の知識、技術の習得を考慮した指導を行い、外科専門医から小児外科専門医取得へとつなげる一貫した育成プログラムを行っています。これからの外科医療を支えていくためには若き医師の力が必要であり、その育成に力を入れています。

領域の紹介

小児外科は鼠径ヘルニアや停留精巣などの一般的な小児外科疾患から先天性の新生児・乳児疾患(鎖肛や食道閉鎖、Hirschsprung病など)や急性虫垂炎や腸重積などの救急疾患、小児期より若年期・成人期へ診療が継続している重症心身障児への外科的介入、小児がんに至るまで幅広い疾患を対象として診療を行っています。頸部から肛門に至るまで、呼吸器、消化器、生殖器、軟部組織と幅広い臓器を対象とすることも大きな魅力の一つです。また成人外科はがん診療を中心とするのに対し、小児外科は機能を回復する手術を中心とします。機能的な予後を長期にわたりフォローし、診療に携わったこどもの成長をご家族と一緒に実感することができます。この喜びは小児外科に特有のものです。

<http://www.jsps.or.jp/disease-to-treat>
(日本小児外科学会：小児外科で治療する病気)

主要症例名と実績数

宮崎大学病院において年間100例前後の特に新生児疾患、小児がん、重症心身障児に対する外科治療および内視鏡手術を行っています。また県立宮崎病院小児外科や鹿児島大学小児外科とも連携し、宮崎県の小児外科医療を支えています。

2024年の手術実績数

症 例	実績数
鼠径ヘルニア手術	31 (うち腹腔鏡手術11例)
胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術・胃瘻造設術	16
停留精巣固定術	7
植込型中心静脈カテーテル留置	17
臍ヘルニア根治術	5
鎖肛(高位及び低位)根治術	3
新生児腸瘻・人工肛門造設(穿孔、高位鎖肛など)	4
小児固形悪性腫瘍手術(生検含む)	5
腸閉鎖症手術	4
先天性胆道拡張症手術	1
腹腔鏡下胆嚢摘出術	6

総計113件
うち新生児症例12件(11%)、腹腔鏡・胸腔鏡下手術33件(29%)、緊急手術20件(18%)

教育達成目標

まれな疾患が多い小児外科疾患の診断・治療を適切に行えるようになることを目標とします。最新の医療を学び、医学研究に対する興味を持てるように、積極的に学会発表を行ってもらいます。

- 小児外科的疾患の診断に必要な問診と身体診察を適切に行うことができる。
- 小児外科疾患の診断計画をたてることができる。
- 小児外科疾患の診断に必要な基本的検査法の実施及び一部の特殊検査の選択と結果の解釈ができる。
- 小児外科における基本的治療・手術法を適切に選択し、確実に実施することができる。
- 小児外科疾患の患者とその関係者に、病状と診療に関し十分な説明を行なうことができる。

取得できる専門医及び技能

卒後7年で小児外科専門医の取得が可能です。小児外科専門医になるには日本小児外科学会が認定した施設で研修する必要があります。

- 外科専門医
- 小児がん認定外科医
- 外科指導医
- 新生児認定外科医
- 小児外科専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医など
- 小児外科指導医

週間行事・研修に関する行事

時間	月	火	水	木	金
朝	消化管・内分泌・小児外科カンファレンス	肝胆膵カンファレンス	消化管・内分泌・小児外科カンファレンス	肝胆膵カンファレンス	外科学講座全体カンファレンス
午前	病棟業務	外来	外来検査病棟業務	外来	手術
午後	病棟業務	病棟業務	周産期合同カンファレンス	病棟業務	手術

指導医からのメッセージ

○ 小児外科診療科長・総合周産期母子医療センター講師 中目 和彦

小児人口の減少、外科医の減少に伴い、小児外科医も減少しています。しかし手術を必要とする小児や赤ちゃんがいなくなることはありません。小児外科専門医は小児に対するgeneral surgeonであり、小児に対して広く深い知識・スキルが要求されます。人生100年の時代を見据えて小児の将来をサポートしていくことはやりがいのある仕事だと思います。外科・小児外科に興味がある方は、気軽にご連絡ください。

先輩からのメッセージ

○ 消化管・内分泌・小児外科 川野 正人

外科って大変そう…って思いませんか？小児外科は扱う疾患の種類も多く、新生児から思春期まで幅広い年齢を対象とするのでもちろん簡単ではないですが、その分やりがいも大きな仕事です。ぐったりしていた子供が、自分の手術で元気になっていく姿を見ると、「この仕事を選んでよかった」って心から思えます。家族と一緒に悩んで、乗り越えて、一緒に笑える瞬間がたくさんあります。手術の技術も求められるし、全身管理も学べる。医者として、人として、大きく成長できるフィールドです。少しでも興味があるなら、ぜひ飛び込んでみてください！

責任者からのメッセージ

乳癌は女性の悪性腫瘍の中で最も頻度が高く、しかも比較的若年の働き盛りの世代に多い疾患です。しかしながら、宮崎県では乳腺外科医が少ないのが現状です(乳腺専門医の人数は全国で43位)。

乳腺外科は比較的新しい分野であり、外科と乳腺腫瘍の診療のハイブリットにより早期乳癌の根治や進行・再発乳癌の治療、ケアを科学的に行っています。

またMIRAY1というのは日本乳癌学会の中の全国の若手の会員で構成されるグループ「Multi Institutional bReast cAncerYoung team No.1」になります。若手医師の施設、専門科を超えた横断的なネットワークの形成。多彩化するキャリアパス支援。学生や研修医のリクルート・教育を目的としています。

今回はそれに肖りキャッチコピーとしました。興味のある方は是非当科に連絡、参加ください。

領域の紹介

当科では、画像診断(マンモグラフィやUS)、針生検などの基本的な乳腺診療から手術、化学療法まで全てを行っています(がんゲノム医療や妊孕性の問題も扱っています)。

乳癌の薬物療法も行っていますが、薬剤の進歩により最近では著効例も多い状況です(CDK4/6阻害剤や新規抗HER2薬など)。体制的には常勤の乳腺専門医・指導医1名に加え、非常勤の乳腺専門医1名、外科専門医1名が加わってきており外来診療、手術に携わっています。外科専門医取得を目指している後期研

教育達成目標

乳腺外科での外来診療(画像診断、針生検、化学療法等)や手術に加えて、学会発表や論文作成(専門医取得にはファーストオースアーで1報必要)を行い、外科専門医、乳腺専門医を取得するのが先ずは目標と考えています。

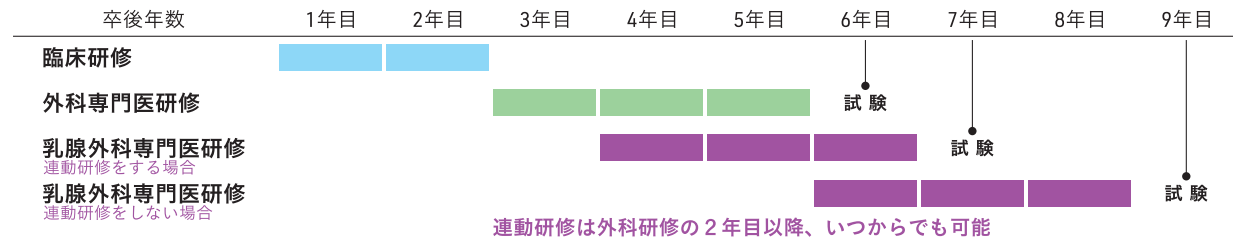
これらには日々の診療を1つずつクリアしていくことが大切だと考えています。

取得できる専門医及び技能

まずは外科医局に入局して外科専門医の取得を目指します。入局後は各分野(心臓血管、呼吸器・乳腺、消化管・内分泌・小児、肝胆膵の4分野)を4ヶ月間、ローテートして症例数を重ねることで外科専門医が取得可能です(外科専攻医になり3年間の修練が必要)。2022年より日本専門医機構でも乳腺外科はサブスペシャリティ領域として認定されており、乳腺専門医やその前段階の乳腺認定医が取得可能です(外科専攻医になり1年後からの乳腺外科専門医研修カリキュラムでの3-5年間の修練が必要。内、1年間は県立宮崎病院やさがら病院宮崎での乳腺外科の研修が可能)。

また、マンモグラフィー読影医やがん治療認定医を取得するサポートを行います。また当科で研修終了後、将来的には結婚後や子育て中でも乳がん検診を行うことで乳癌診療に貢献することが可能と考えています。

専門医研修のフローチャート



募集定員
2名

研修期間
4年

責任者からのメッセージ

形成外科

病院教授 伊東 大



宮崎県には形成外科専門医も指導医もまだまだ足りません。2021年度から当科を基幹施設とした研修プログラムで、後期研修医募集を開始しました。宮崎江南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構災害医療センター、都城市のさかいクリニック、埼玉県入間市のかたぎりクリニック、大阪市立総合医療センター、沖縄ハートライフ病院が連携施設です。さらに東京女子医大病院、鹿児島市立病院、久留米大学病院、大阪公立大学病院とプログラム連携しています。充実したプログラムおよび充足した症例数を有し、実りある後期研修医生活を送れるようスタッフ一同日々努力しております。少しでも興味があり、やる気のある方、お待ちしております。

プログラムの特徴

本プログラムでは、形成外科専門医となるために経験すべきすべての疾患に関し経験することが可能で、もちろん形成外科専門医取得が可能です。より難易度が高く稀な疾患・病態に対する治療頻度が高いのも特徴です。

- 1 包括的な体表外科：**先天異常、外傷、腫瘍、炎症性・変性疾患など体表面の外科的疾患すべてに豊富な症例数を有しています。
- 2 多種多彩な創傷に対応する外科的治療：**「創傷外科」として院内で発生する術後創に関するトラブルに対応しています。開頭術後の難治性潰瘍、開胸術後の縦隔炎、消化器外科などの腹部手術後の創離開、皮膚科・整形外科での皮膚欠損創など、多種多彩な手術創の修復に関わっています。創傷外科専門医の取得も可能です。
- 3 微小血管吻合技術を用いた再建手術：**外科系各科との緊密な連携により、頭頸部再建、腹壁再建、乳房再建、四肢再建など各種再建手術において遊離組織弁移植術を行っています。また、切断指再接着や肝切除の際の肝動脈吻合などの微小血管吻合も行い、良好な治療成績を得ています。再建・マイクロサージャリー指導医の取得も可能です。
- 4 熱傷治療施設としての地域貢献：**これまで救命救急科・皮膚科が、宮崎県の熱傷治療を支えてきました。現在は当科も加わって協力し宮崎県の熱傷治療に大きく貢献しています。熱傷専門医の取得も可能です。
- 5 研究への取り組み：**遊離皮弁移植後の皮弁の血行動態や創傷治癒などの臨床研究に取り組んでいます。希望者には米国テキサス大学への研究留学も夢ではありません。

連携施設名等

	施設名	指導医	症例数
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	伊東 大 教授	約400例
連 携 施 設	さかいクリニック、宮崎江南病院、国立病院機構 災害医療センター、大阪市立総合医療センター、かたぎりクリニック		
連携候補施設	ハートライフ病院		
地域医療連携施設	都城市郡医師会病院		
他プログラムの基 幹 施 設	東京女子医大病院、久留米大学病院、大阪公立大学病院、鹿児島市立病院		



取得可能な専門医資格および技能

- 日本専門医機構 形成外科専門医
- 日本形成外科学会認定 特定分野指導医
 - 皮膚腫瘍外科分野指導医
 - 小児形成外科分野指導医
 - 再建・マイクロサージャリー分野指導医
- 日本創傷外科学会認定 創傷外科専門医
- 日本頭蓋顎顔面外科学会認定 頭蓋顎顔面外科専門医
- 日本熱傷学会認定 熱傷専門医
- 日本手外科学会認定 手外科専門医

プログラム達成目標

- 1 専門知識**
専攻医は専門研修プログラムに沿って(1)外傷、(2)先天異常、(3)腫瘍、(4)瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、(5)難治性潰瘍、(6)炎症・変性疾患、(7)その他、(8)美容外科について広く学ぶ必要があります。
- 2 専門技能**
形成外科領域の診療を(1)医療面接(2)診断(3)検査(4)治療(5)偶発症に留意して実施する能力の開発に務める必要があります。
- 3 4年間での手術経験数および執刀数**
基幹施設と連携施設を合わせた研修施設群全体について、専攻医1名あたり4年間で最低300例(内執刀数80例)の経験(執刀)症例数を必要とします。

主要症例名と実績数

主科別手術件数

診療科	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
形成外科	257	317	360	300	273	286
耳鼻咽喉科	33	15	8	9	12	8
歯科口腔外科	30	28	27	23	27	18
救急科	8	7	4	6	6	10
整形外科	10	5	12	9	7	9
外科	7	20	27	21	19	18
皮膚科	2	0	0	1	4	1
脳神経外科	3	3	3	2	1	4
産婦人科・NICU	0	1	0	4	2	1
合計	350例	396例	441例	375例	351例	355例

専門医取得までのタイムスケジュール(専門研修ローテーション)

本研修プログラムでは宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、5つの連携施設、及び4つの他プログラムの基幹施設とともに病院施設群を構成しています。施設群で育成することの意義は、各施設によって分野や症例数が異なるため、専攻医が専門研修カリキュラムに沿って十分に研修を行うことです。専攻医はこれらの施設群をローテートす

専門研修施設群



	専門研修1年目	2年目	3年目	4年目
ローテーションの一例	宮崎大学医学部附属病院	鹿児島市立病院	国立病院機構災害医療センター	東京女子医科大病院
県内限定ローテーションの一例	宮崎江南病院	宮崎大学医学部附属病院	宮崎江南病院	さかいクリニック

※専攻医は最低1年間基幹施設である宮崎大学医学部附属病院での研修を必要とします。

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時 間	月	火	水	木	金
朝	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 外科総合カンファ 回診
午前	外 来	外来 中央手術	中央手術	外 来	中央手術
午後	外来手術	中央・外来手術	中央手術	外来手術	中央手術
夕方	頭頸部カンファ イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	術前カンファレンス イブニングカンファ 回診	術後カンファレンス イブニングカンファ 回診、抄読会

先輩からのメッセージ

2015年発足した宮崎大学病院外科学講座形成外科分野は、現在医師4名で診療にあたっております。手術症例数は2024年の1年間で約350例でした。約1/3が他科との連携手術症例で、その殆どが再建手術であり、年々増加傾向です。つまり当科の特徴は、一人当たりの経験症例数が非常に多いため、経験値が急上昇。しかも他科からの紹介症例が多く、経験できる手術症例の種類が多様である事です。さらに形成外科学分野は外科学講座と大きな母体にいることで早急に様々な問題が解決できます。外科学講座内は非常にコミュニケーションがとりやすく、困った症例などで他科に相談するというストレスがなく解決できます。さらに外科の知識が豊富に吸収できる事も特徴です。是非見学に来てください！お待ちしております。



お問い合わせ先

担 当：伊東 大

T E L：0985-85-9786
F A X：0985-85-9788
e-mail：hiroshi_itou@med.miyazaki-u.ac.jp

形成外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/info-field/field-4/>



Orthopaedics is My Life!
運動器のスペシャリストを目指して！

整形外科専門研修プログラム

募集定員
6名

研修期間
4年



責任者からのメッセージ

整形外科
亀井 直輔



宮崎の自然や人は最高です。
また、柔軟性のある理想的教育環境や研修カリキュラム、気軽に相談できる多くの指導医がいます。
是非、一緒に研修し世界を視野に地域から始めましょう。南国宮崎の自然と人があなたを待っています！

プログラムの特徴

本プログラムは3年9ヶ月の研修を義務付けており、4年目の12月で終了し、1月に専門医試験を受験します。

- 1年目は大学病院で研修します。
- 2～3年目は地域中核病院または宮崎市内の連携病院で、主に一般整形外科・外傷を学び外来～手術～後療法の治療医となります。この時期に地域医療も研修します。
- 3年9か月の研修後に、大学院希望者は大学院コースへ、subspeciality希望者は大学を含む連携病院での研修が選択できます。
- 専門医取得後、海外・国内留学などを推奨しています。また、各種競技の帯同ドクター、スポーツ現場での活動や日本スポーツ協会公認スポーツドクターの取得も推奨しています。
- 女性医師へのサポート体制も整えています。産休・育休の取得はもちろんのこと、家庭の状況に応じて勤務形態を選択することができ、女性にも優しいプログラムになっています。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	亀井 直輔、他13名	脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、スポーツ、小児整形、腫瘍、リハビリ
連携施設	高千穂町国民健康保険病院、宮崎県立延岡病院、済生会日向病院、宮崎県立こども療育センター、宮崎市立田野病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院、串間市民病院、宮崎県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、えびの市立病院、国立病院機構宮崎病院、千代田病院、藤元総合病院、橘病院、野崎東病院、球磨郡公立多良木病院、宮崎善仁会病院、潤和会記念病院、小林市立病院、なんごう病院		

取得可能な専門医資格および技能

<取得可能専門医>

日本整形外科学会整形外科専門医

日本リハビリテーション医学会リハビリテーション専門医

<サブスペシャリティ>

日本脊椎脊髄病学会指導医、日本リウマチ学会専門医、日本手外科学会専門医

<取得可能な資格>

日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション認定臨床医、日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ医、日本医師会健康スポーツ医、日本人工関節学会認定医、日本骨粗鬆学会認定医、日本膝関節学会関節鏡技術認定医

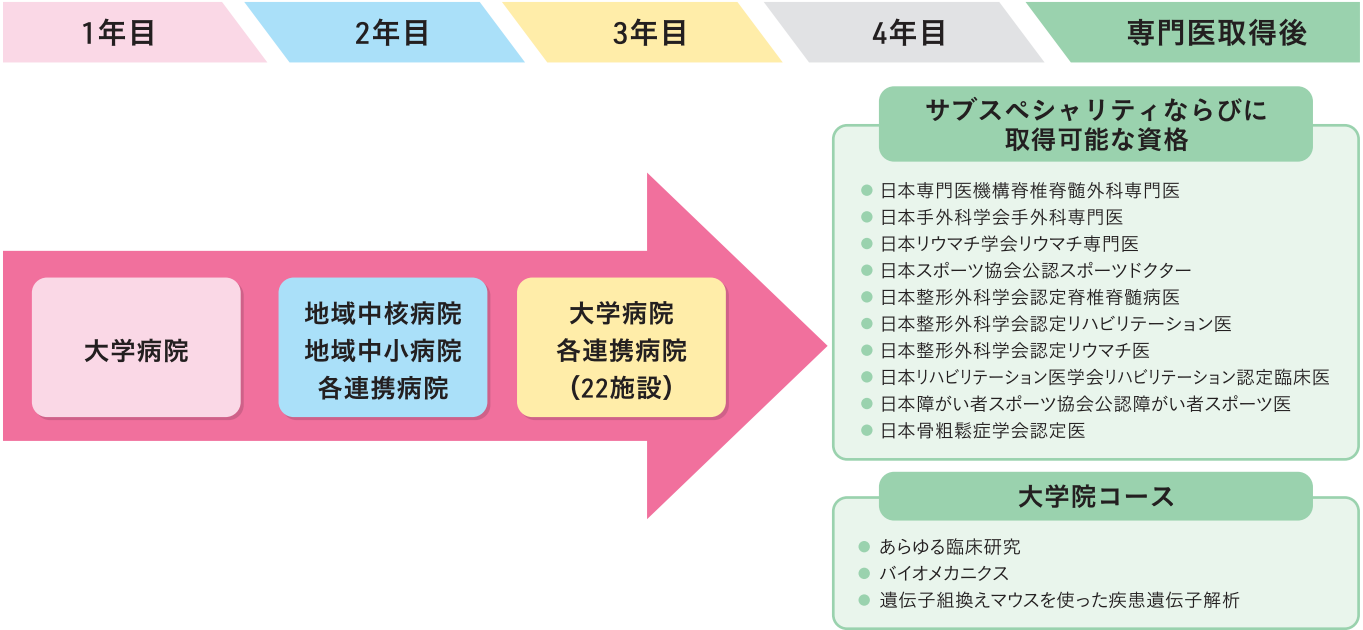
プログラム達成目標

宮崎大学医学部附属病院整形外科専門研修プログラムは到達目標を「自立したプロフェッショナルとしての整形外科医師」としています。
整形外科学は、運動器の機能と形態の維持・再建をめざす臨床医学であり、脊椎、上肢、下肢などの広範な診療領域を扱います。高齢化社会をむかえた我国においては、整形外科への期待はますます大きくなっています。現在、宮崎大学医学部附属病院整形外科には、脊椎、股関節、膝関節・スポーツ医学、上肢・手外科、足の外科、小児整形外科、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療、および研究グループがあります。連携施設は、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、リウマチ、リハビリテーションなどそれぞれに特色をもった22におよぶ施設、病院があり、機能的なローテーションにより、プライムケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことを目標としています。

主要症例名と実績数

入院加療を行っている症例は、救急外傷(多発・重度外傷)、骨折などの外傷はもちろんのこと、変形性関節症などに対する再生医療としての骨切り術・関節形成術や人工関節置換術、靱帯損傷に対する靱帯再建や腱板損傷や肩関節脱臼に対する関節鏡視下手術、顕微鏡手術を導入した脊椎外科、スポーツ選手管理を行うスポーツ整形、手の機能再建や多指症など先天性疾患に対する形成術を中心とした手外科、骨軟部腫瘍に対する化学療法や再建術、薬物療法から機能再建術まで担う関節リウマチ、小児整形外科、骨粗鬆症など、専攻医はすべての症例を研修することができます。手術症例数は年間1,300例で、同規模の病院では最多です。

専門医取得までのタイムスケジュール



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	手術	外来	外来	抄読会・手術	術前カンファ・外来
PM	手術	外来・病棟業務	検査	手術	術後カンファ・回診・医局会

指導医からのメッセージ



助教 永井 琢哉

『整形外科は大工さんみたい』確かに手術室ではドリルやハンマーの音が響きます。力仕事のイメージがあるかもしれませんが、実はスクリー1本にも工夫を凝らしており、女性医師も数多く活躍しています。最大の魅力は、患者さんの笑顔が見られるところです。今まで歩けなかった方が歩けるようになったり、痛みが軽くなったり、整形外科は子供からお年寄り、アスリートまで診る運動器のスペシャリストです。また整形外科専門医を取った後にスポーツドクターなどのサブスペシャリティーにも挑戦できまし、骨粗鬆症などありふれた病気もまだまだ解明できない謎があり、アカデミックな研究も盛んに行っています。整形外科に少しでも興味のある方、まだ将来何科になるか悩まれている方はぜひ研修に来てくれば嬉しいです。一生の仕事になると 생각합니다。

先輩からのメッセージ



宮崎江南病院 日高 三貴

整形外科は、多様な働き方が可能であり、個々のライフステージに応じたキャリアを築くことができる診療科です。私自身、出産・育児という人生の大きな節目を迎えた際に、その柔軟な環境の恩恵を受けました。

産後、育休を経て職場復帰した際には、手術を伴わない一般外来を中心とした病院に異動し、0歳から100歳まで幅広い患者さんを診る機会を得ました。この経験は、整形外科医としての総合的な診療力を高める貴重な時間でした。産後2年半程してからは脊椎外科を志し、手術に復帰して経験を積んでいます。このように、当医局ではそれぞれの状況に合わせた働き方を支援し、育児と仕事を両立できる環境が整っています。先生方の協力や配慮のおかげで、安心してキャリアを継続することができるのも大きな魅力です。温かく協力的な雰囲気の中で、多様な経験を積みながら、自分に合った働き方を見つけられる 当科で一緒に働きませんか？

ココに注目！

当科では、侍ジャパン、なでしこジャパン、サッカー日本代表U-16、ラグビー高校日本代表やラグビーワールドカップ、国スポ・障スポの帯同ドクターの派遣、各種大会のメディカルチェック・サポートも行っています。

さらに、宮崎でキャンプを行うプロチーム等のメディカルサポートも担当しています。
また少年野球検診等に関する事業にも力を入れており、子供からの運動器のケアを行っています。

お問い合わせ先

担当：亀井 直輔

T E L：0985-85-0986

F A X：0985-84-2931

e-mail：seikei@med.miyazaki-u.ac.jp

整形外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/ortho/>





責任者からの
メッセージ

リハビリテーション科
教授 荒川 英樹



宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専攻医養成プログラムは、地方の立地を生きかし、多くの症例の経験ができ、専攻医の皆さんの多様な希望にこたえられるプログラムを提供します。宮崎県はいわゆる地方都市です。大都市と比較して患者数ではないませんが、以下の点で有利であり研修を勧めます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科が地域の7つの連携施設と密に連絡を取りあい、専攻医の希望を取り入れながら研修を進めていきます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGのメリットは以下の通りです。

- 1

ほとんどすべての難治症例が宮崎大学医学部附属病院に搬送されます。従って基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で研修することは、多くの難治症例を経験することができます。専攻医数も少ないので丁寧な指導が期待できます。
- 2

一人あたりの専攻医が受け持たせてもらえる患者の数や、主体となって実施できる検査などが格段に多くなっています。
- 3

大都市の病院では専門分野は細分化する傾向がありますが、地方都市では多くの専門分野を総合的に研修できます。

プログラムの特徴

当院は宮崎県における中核的教育医療機関で、ドクターヘリを運用する救命救急センターを軸とした超急性期リハや高度合併を有する内部障害リハ、がんリハなど幅広いリハが特徴です。また近接する宮崎大学宮崎市立田野病院と併設の介護老人保健施設では地域在宅のリハ／ケア医療の実践に力を入れていますので、実際の地域往診、訪問・介護リハ、看取りケアなどを体験することができます。

取得可能な専門医資格
および技能

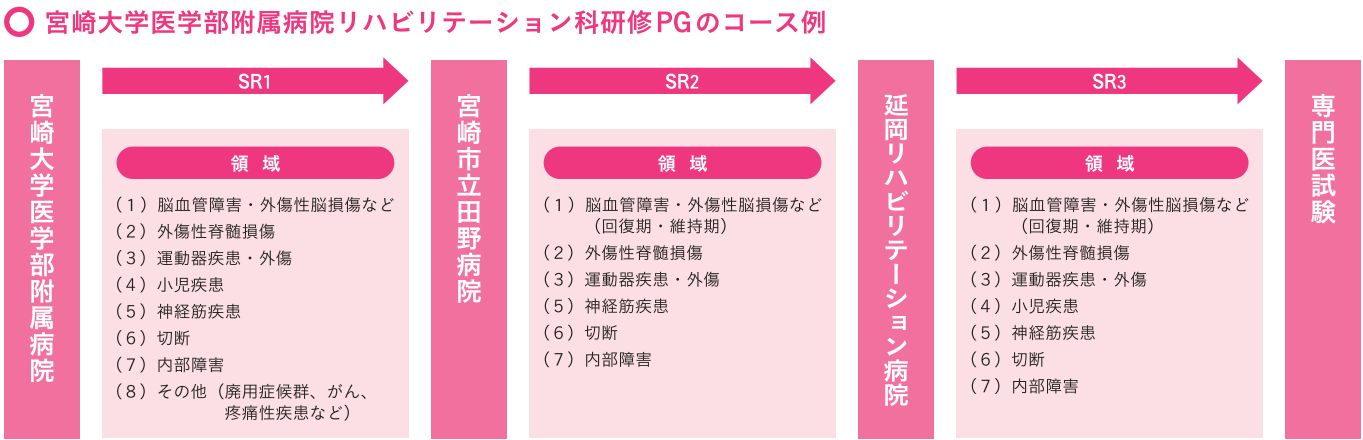
リハビリテーション科専門医(日本リハビリテーション医学会認定)宮崎大学医学部附属病院専門研修PGでは、基幹施設と連携施設それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことが出来ます。

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	荒川 英樹 教授、他1名	リハビリテーション科・整形外科
連携施設	宮崎市立田野病院、延岡リハビリテーション病院、ちゅうざん病院		
関連施設	宮崎県立こども療育センター、国立病院機構都城医療センター、宮崎江南病院、野崎東病院、潤和会記念病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

図に宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGの3年間のプログラム(基幹病院と連携施設のローテート)における1コース例を示します。

施設は大学病院、一般病院、リハビリテーション専門病院の中から選択され、症例等で偏りの無いように、専攻医の希望を考慮して決めます。



プログラム達成目標

知識として求められるものには、リハビリテーション概論、機能解剖・生理学、運動学、障害学、リハビリテーション関連領域疾患の知識などがあります。専門技能(診察、検査、診断、処置、手術など)として求められるものは、8領域に亘ります。

- 1

脳血管障害、外傷性脳損傷など
- 2

外傷性脊髄
- 3

運動器疾患、外傷
- 4

小児疾患
- 5

神経筋疾患
- 6

切断
- 7

内部障害
- 8

その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)

時間	月	火	水	木	金
午前	病棟カンファ リハ外来	勉強会（月1回） 病棟カンファ リハ外来 ボトックス・嚥下外来	病棟カンファ リハ外来 検査・測定	病棟カンファ リハ外来	病棟カンファ リハ外来
午後	定期ミーティング（月1回） 他科合同カンファ（月1回）	高次脳外来 検査・測定 疾患別カンファ	装具外来 疾患別カンファ	検査・測定 疾患別カンファ 勉強会（月1回）	高次脳外来 装具外来 リハカンファ 疾患別カンファ

ココに注目！

広がる
リハビリテーション医学・医療のニーズ

わが国のリハビリテーション医学・医療の原点は、戦前の急性灰白髄炎(脊髄性小児麻痺：ポリオ)、骨・関節結核、脳性麻痺などの肢体不自由児に対する療育にあるとされています。宮崎県では1959年に宮崎県立整肢学園が開設され、現在のこども療育センターへと発展しています。その後、戦傷、労働災害や交通事故で対象となる患者さんが急増し、四肢の切断や骨折、脊髄損傷のリハビリテーション医学・医療が大きな課題となりました。そして超高齢社会となった現在、リハビリテーション医学・医療の対象として、これまでの小児疾患や切断・骨折・脊髄損傷に中枢神経・運動器(脊椎・脊髄を含む)・循環器・呼吸器・腎臓・神経筋疾患、関節リウマチ、摂食嚥下障害、がん、スポーツ外傷・障害などの疾患や障害が加わりました。さらに周術期の身体機能障害の予防・回復、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルなども加わり、ほぼ全診療科に関係する疾患、障害、病態を扱う領域になっています。更に東京オリンピック・パラリンピックを経て、障がい者(後遺症)のADLだけでなくQOLさらにより高度な機能改善に視点を向ける“障がい者スポーツ”も注目されています。残存機能に適した補装具、スポーツ関連機器などの適正やクラス分類分けなどを、リハビリテーション医学・医療という幅広い視野で経験することができます。宮崎県には、障がい者アスリートが日本・世界各地からキャンプに訪れ、サブスペシャリティとして取得可能な“障がい者スポーツ医”としても活躍できます。

症例	実績数（延人数／年）
脳血管障害、外傷性脳損傷など	3,000
脊髄疾患	50
運動器疾患、外傷	4,000
小児疾患	300
神経筋疾患	400
切断	50
内部障害	1,500
その他（廃用症候群、がんなど）	1,500

主要症例名と実績数

先輩からのメッセージ



助教 山口 洋一郎

地域の基幹病院であるため様々な分野の症例を経験できます。また指導医の先生方の専門分野も多様で、専攻医も少ないことから充実した丁寧な指導を受けることができます。是非一緒に宮崎でリハビリ専門医を目指しましょう。

お問い合わせ先

担当：荒川 英樹

T E L：0985-85-0986
F A X：0985-84-2931
e-mail：rehabili@med.miyazaki-u.ac.jp

リハビリテーション科HP



http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/rehabili/

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

形成外科

整形外科

リハビリテーション科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

総合診療

37 University of Miyazaki Hospital

38

To the next generation 産婦人科専門研修プログラム

募集定員
10名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ



産科婦人科
教授 桂木 真司

当科では臨床医かつ研究者として幅広く活躍できる人材の育成を目標としています。産科、婦人科ともに症例が豊富でチーム医療を通じて高度な技術や診断能力を高める事ができます。周産期、婦人科、新生児領域における研究も盛んであり、臨床と研究の両立も盛んであり、働き方改革を意識した勤務時間にも留意しています。女性：男性＝6：4程度で育児中の若いママさん先生も多く活躍し、医局全体が明るく楽しく仕事ができる診療科です。次世代を築く若い先生方と臨床の喜びを共有できる日がくる事を心まちにしています。

プログラムの特徴

当院の産婦人科は、周産期医療、婦人科腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケア、臨床遺伝医学の領域を担っています。周産期部門では、周産期専門医の指導のもとに母体胎児管理ならびに新生児管理を行っています。産婦人科医が新生児医療のトレーニングを行っている施設は全国でも稀ですが、胎児管理から新生児管理を一連に管理することは、母児にとって極めて有用で、過去20年以上にわたり、全国トップクラスの実績を誇っています。婦人科領域では、婦人科腫瘍専門医の指導下に、悪性腫瘍の集学的加療、腹腔鏡やロボット補助下などあらゆる婦人科手術を行っています。その他、生殖内分泌、女性ヘルスケア、臨床遺伝医学についても学ぶことができます。

主要症例名と実績数

	症 例	実績数
産 科	経腔分娩	200
	帝王切開術	100
	選択的帝王切開/緊急帝王切開	
	合併症妊娠	50
	糖代謝異常、自己免疫疾患、甲状腺疾患、心疾患、悪性腫瘍など	
	産科合併症	50
婦 人 科	多胎・妊娠高血圧症候群・前置胎盤・胎盤早期剥離・胎児疾患など	
	悪性腫瘍手術	50
	広汎子宮全摘術・後腹膜および傍大動脈リンパ節郭清など	
	低侵襲手術	50
	腹腔鏡手術 ロボット支援下手術 子宮鏡手術など	
	腔式手術	20
	腔式子宮全摘術 子宮脱手術 子宮頸部円錐切除術 など	

指導医からのメッセージ

宮崎市郡医師会病院 勤務
前卒後臨床研修センター 教員 圓崎 夏美 (2014年宮崎大学卒)

産科では新たな命の誕生に立ち会い、NICUでは小さく生まれた赤ちゃんの全身管理を行い、婦人科ではがんと闘う女性のサポートを行います。ひとえに産婦人科といっても学べることは幅広く、内科的管理から外科的管理まで様々な知識が必要です。私たちは一丸となり、毎日宮崎の赤ちゃん＆女性のため奮闘しています。忙しい・大変なイメージがあると思いますが、出産・育児を行いながら働く女性医師も増えており、自分の人生設計に応じた働き方ができるようサポートしていきます！宮崎の産婦人科医療と一緒に盛り上げていきましょう！

ココに注目！

宮崎大学産婦人科講師/副診療科長/前医局長 土井 宏太郎 (2000年 鹿児島大学卒)

産婦人科は、人生にもっとも長くかわかり、そして次世代へ繋ぐ唯一の診療科です。周産期における胎児管理・新生児管理・思春期の女性医学・婦人科腫瘍・成人における月経の問題・更年期症候群・老年期医療の女性ヘルスケアまで、長く広く関わるすることができます。宮崎大学産婦人科教室は、あまり多い人数ではありませんし、凄く先進的な医療設備や特殊技術を多く持ち合わせているわけでもありませんが、日々、謙虚に自分たちができうることを全うしていくことで地域の医療に貢献しています。そしてそれを一人一人が積み重ねることで、大都市にも負けない世界に誇れる質の高い産婦人科医療を実践することができています。私たちは地域の女性やその家族がもっとも欲している医療に応えることができる医師を、より多く育てていきたいと思っています。将来を担う若い先生方には、等しく得た機会を地道に積み重ねて医師としての力をしっかり身につけ、それぞれに最適な場所でその力を大きく伸ばし存分に発揮してもらいたいと思っています。宮崎にゆかりのある人も、そうでない人も年齢経験問わず老若男女歓迎です。ぜひ私たちと一緒に産婦人科医療を学び、すべての女性とその家族の幸せな人生をサポートしていきましょう。そして、やりがいのある充実した医師人生の第一歩を踏み出していきましょう。

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	関連病院 合同症例 カンファレンス	新生児科症例 カンファレンス	リサーチカンファ 研究結果 発表会	産科症例 カンファレンス	婦人科症例 カンファレンス
午前	病 棟	手術／病棟	病 棟	手術／病棟	病 棟
午後	回 診	手術／病棟	病 棟	手術／病棟	病 棟
夕方			病理部門合同 カンファレンス		

先輩からのメッセージ

宮崎大学 勤務
※本年は産前休暇・育児休暇取得予定 大富 正子 (2017年 宮崎大学卒)

産婦人科は周産期、腫瘍、新生児医療、女性医学など幅広い分野があり、やりたいことがあれば各々に適した道が用意されています。内科的な頭の使い方も、外科的な体の動かし方もでき、メリハリのある生活の中で専門性を高めていくことができるという魅力もあります。また、私たちの医局には出産・育児を行いながら働く医師が多数在籍しており、各々の人生設計に応じた働き方が可能です。外科か内科で迷っている方、「何に向いているのかわからない」と悩んでいる方、子育てしながら仕事を続けていけるのか不安な方、ぜひ宮崎で一緒に働きましょう！

専攻医3年目 宮崎大学 勤務 川越 万葉 (2021年 福岡大学卒)

私は入局一年目の5月に出産し、産休・育休をいただいたのち今年の4月に復帰しました。現在は専攻医と育児の両立生活が始まったところです。出産したものの、産婦人科医と子育てとの両立ができるか復帰前はかなり不安でしたが、医局の先生方が非常に気にかけてくださり、大変ありがたいことに子供との時間も確保できております。当医局は子育て中の女医さんも多数在籍しており、子育てとの両立を応援してくれる医局だと感じました。今、私が専攻医と子育ての両立ができているのも、桂木教授や医局長の土井先生をはじめとする先生方や自分の不在時に子供と一緒にいてくれる家族のおかげだと思っています。私は県外の大学出身であったため、卒業時宮崎に帰ってくるかギリギリまで悩みました。しかし、今こうして自分がやりたいことを思う存分させてもらい、自分達をサポートしてくれる家族のいる宮崎に帰ってきて、そして宮崎大学産婦人科に入局することができて本当によかったと思っています。自分もはやく知識や技術を身につけて少しでもお役に立てるように、恩返しできるように頑張りたいと思います。当医局は非常にアットホームで和気藹々とした医局です。先生方が親身にそして熱心にご指導してくださるおかげで充実した日々を過ごせております。まだまだわからないことだらけですが、先生方のおかげで少しずつできることも増えてきてとても楽しいです！少しでも興味を持ってくれた医学生、研修医の先生方にはぜひ一度見学に来ていただきたいです！

お問い合わせ先

担 当：土井 宏太郎

T E L：0985-85-0988
F A X：0985-85-6149
e-mail：koutarou_doi@med.miyazaki-u.ac.jp

産婦人科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/obgyn/



取得可能な専門医資格および技能

- 日本産科婦人科学会専門医
- 日本周産期新生児学会 周産期専門医(母体・胎児、新生児)
- 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 婦人科内視鏡技術認定医
- 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医
- 日本生殖医学会 生殖医療専門医
- 日本内分泌学会 内分泌代謝専門医
- 日本胎児心臓超音波学会 胎児心臓超音波専門医
- 母体保護法指定医

上記以外にも含め、多岐にわたる分野の専門医資格が習得可能です。

プログラム達成目標

日本専門医機構産婦人科専門医資格に必要な症例はすべて本プログラムで全て経験できます。

- 経腔分娩
- 帝王切開
- 前置胎盤/常位胎盤早期剥離
- 子宮内容除去術/子宮内膜全面掻爬
- 腔式手術
- 子宮附属器摘出術
- 単純子宮全摘術
- 浸潤がん手術
- 腹腔鏡下手術
- 不妊症治療
- 生殖補助医療における採卵・胚移植
- 思春期/更年期女性医学
- 内分泌療法

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医1年目は大学病院で産科、婦人科、新生児領域をローテーションし、各領域の基本的な知識と手技を身につけます。専攻医2～3年目は県内の関連施設(地域周産期センター)を中心に研修を行います。各施設では基礎的な多くの症例を経験することができます。またこの期間に経験した症例について全国学会での発表、論文の作成を行います。3年間の専門研修終了により、日本専門医機構産婦人科専門医認定試験の受験資格を取得します。

専攻医キャリアデザイン

宮崎大学を中心とした周産期医療の教育に加え、婦人科、生殖医療の研修が可能です。専攻医1年目は宮崎大学で2年目以降は宮崎県内の数か所の施設での研修を行います。

